



2023年9月27日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学イノベーション推進本部 AWS ジャパン
大学発スタートアップの創出と成長を加速するための連携協定を締結
—AWS ジャパンより、計算リソースや技術・人材など、多角的な支援を提供—

慶應義塾大学イノベーション推進本部（所在地：東京都港区、統括本部長：天谷雅行、統括副本部長：山岸広太郎）は、世界で包括的かつ幅広く採用されているクラウドコンピューティングを提供するアマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社（以下、AWS ジャパン）と、2023年9月27日に、大学発のスタートアップの創出と成長を加速するための連携協定を締結しました。

本協定により、AWS ジャパンは慶應義塾大学と連携し、慶應義塾大学関連スタートアップ（*1）への計算リソースの提供や、慶應義塾大学へのスタートアップや起業家が必要とする技術・人材支援や情報提供などを行います。両者は、協働して大学発スタートアップの創出支援・育成を行い、大学発スタートアップによる教育・研究成果の社会実装を推進することで、全社会の課題解決を目指します。

慶應義塾大学は、大学の産学連携機能を担うイノベーション推進本部内のスタートアップ部門を2022年3月より本格始動させ、大学発スタートアップの創出・成長を通じた研究・教育成果の社会実装を推進しています。2022年12月には、慶應義塾大学関連スタートアップ制度や慶應版客員起業家（EIR）制度を導入し、複数のパートナー企業との連携協定の締結を発表しています。また、2023年5月に発表された「令和4年度大学発ベンチャー実態等調査」（経済産業省）における大学別企業数では全国3位となりました。その一方で、起業家やスタートアップは引き続き多様な支援を必要としており、近年重要性が高まっている人工知能・機械学習（AI/ML）などコンピューティングに関する支援もその1つです。

AWS は、世界で幅広く採用されている包括的なクラウドコンピューティングを提供しており、スタートアップ支援にも積極的に取り組んでいます。AWS ジャパンは、スタートアップ支援に関して、新潟県、つくば市や浜松市、北九州市など地方自治体との連携協定をこれまでに発表しており、また研究開発型スタートアップなどを多く輩出または有する大学などの高等教育機関との連携についても可能性を模索してきました。

このような背景から、慶應義塾大学イノベーション推進本部とAWS ジャパンは、コンピューティングに関するスタートアップの課題を解決し、起業やその後の成長を加速するための連携協定を締結いたしました。この連携は、慶應義塾大学関連スタートアップ（<https://innov.keio.ac.jp/startup/support/startup-system/>）や起業を目指す研究者に対する多角的な支援体制の構築を特徴としており、具体的には、主にAWS ジャパンからの以下の4つの支援から成り立っています。

1. 計算リソース提供：AWS Activate（*2）プログラムを活用し、慶應義塾大学関連スタートアップに対して、最大\$5,000分のAWS利用バウチャーや他のSaaSのディスカウントを提供します。
2. 技術・人材支援：AWS エンジニアによる個別の技術相談会を開催し、CTO人材への学習やネットワーキングの機会を提供します。これには、オンサイトのワークショップも含まれます。
3. 情報提供：セキュリティ対策、データ保護法規、IT運用コスト最適化、AI/MLの最新サービスなどに関する情報発信を行います。これらはセミナーや勉強会の形で実施します。
4. 起業文化醸成：セミナーやイベントを通じて起業文化を醸成します。具体的には、AWS ジャパンが企画するアントレプレナーシップ教育関連イベントへの紹介や、補助金や事業化支援の制度活用に関する情報提供を行います。

慶應義塾大学イノベーション推進本部は、今後も様々なステークホルダーと連携し学内外のハブとして機能することで、スタートアップ創出・育成の課題を解決し、慶應義塾大学発スタートアップを起点とするスタートアップ・エコシステムの活性化を目指していきます。

慶應義塾大学 イノベーション推進本部 統括本部長 天谷雅行 コメント

「全社会的先導者」という慶應義塾の目的の下、研究・教育成果を基にしたスタートアップ創出に力を入れる本学にとって、世界規模のクラウドサービスを展開する AWS ジャパンとの連携は大きな意味を持つものと考えています。慶應義塾大学イノベーション推進本部は、本連携協定の下、スタートアップ・エコシステムの発展に貢献し、世界規模の課題解決ができるようなディープテック企業の成長を支援していきます。

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 執行役員 パブリックセクター 統括本部長 宇佐見 潮 コメント

慶應義塾大学イノベーション推進本部と AWS ジャパンの連携は、起業を志す研究者や学生が必要とする支援を提供することで、慶應義塾大学を中心としたスタートアップコミュニティの拡大を目指すものです。この連携により大学の研究が素早く社会実装されるモデルを構築し、国内の産業活性化のみならず、グローバルの社会課題解決に貢献したいと考えます。慶應義塾大学と AWS ジャパンが日本のイノベーション創出における先導者になることを期待しています。

*1 慶應義塾大学では、本学発のスタートアップ創出や成長を体系的に支援する取り組みの出発点として、その支援対象とする企業を、大学として主体的に定義する慶應義塾大学関連スタートアップ制度を設けています。慶應義塾大学関連スタートアップとはその定義に該当するスタートアップ等を指します。(参考 URL: <https://innov.keio.ac.jp/startup/support/startup-system/>)

*2 AWS Activate は、スタートアップ企業のジャーニーでのあらゆるステップを簡素化するために設計された無料のツール、リソース、およびコンテンツを、ふさわしいスタートアップ企業に提供するものです。メンバーは登録後すぐに、AWS が厳選した、ビジネスおよび技術的なニーズに関するエキスパートのヒント、トレーニングとサポート、事前構築済みのインフラストラクチャテンプレートなどの特典を受け取ることができます。

*ご取材の際には、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。

*本資料は文部科学記者会、各社社会部等に送信させていただいております。

【本件に関するお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>